

今日のキーワード 豪州中銀の基礎知識(豪州)

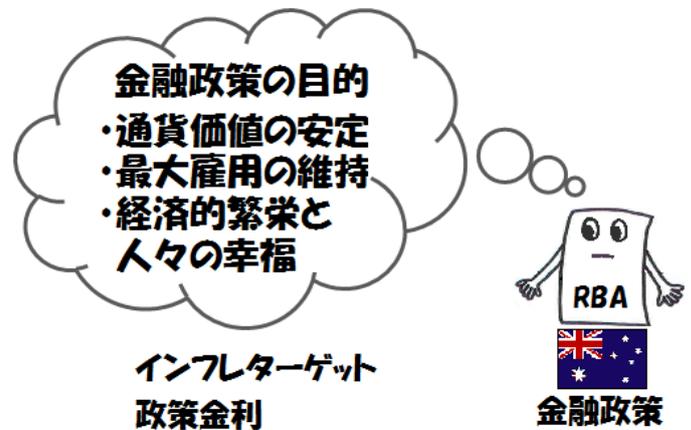
オーストラリア準備銀行(RBA)は、同国の中央銀行として金融政策を担っています。もとは、前身の市中銀行(オーストラリア・コモンウェルス銀行)が中央銀行機能を有しており、RBAは、1960年にその機能を引き継いで業務を開始しました。RBAの金融政策の目的は法律で定められており、①通貨価値の安定、②最大雇用の維持、③経済的繁栄と人々の幸福とされています。

ポイント1 物価の安定が実際の目標、年2~3%が“ターゲット” 政策金利「オフィシャル・キャッシュレート」の誘導が手段

- 1993年以降、金融政策の実際の目標として、消費者物価の上昇率を年2~3%に安定させることが明確にされました。RBAは、中長期的な物価の安定を通じて持続的な経済成長を促す、と説明しています。物価を安定させることで、第一の目的「通貨価値の安定」を図るねらいがあります。
- 物価上昇率を政策目標のひとつとする政策は「インフレ・ターゲット」と呼ばれ、米国、ユーロ圏をはじめ主要国で導入されています。日本でも「2%の物価安定の目標」として同様の政策がとられています。
- 一般に、物価安定を図る政策手段のひとつは「政策金利」です。物価が高騰する場合は、「政策金利」を引き上げ、借入を抑制することなどで景気と物価を冷やす措置をとります。逆に、景気が落ち込んで物価が上がりにくい場合は、「政策金利」を引き下げて景気を下支えします。オーストラリアの場合は、「政策金利」として「オフィシャル・キャッシュレート(OCR^(*))」と呼ばれる金利が使用されます。(*)OCRは、銀行間の取引に適用される翌日物貸出金利です。RBAは、OCRの誘導目標を示すことで市場金利を調節します。

ポイント2 政策決定は、1月を除く毎月 毎月第1火曜日の午後2時30分に発表

- RBAの政策決定会合は、総裁以下9名で行われ、多数決で政策が決定されます。開催は、1月を除く毎月第1火曜日と定められています。決定内容は、当日の午後2時30分(日本時間の午後1時30分、サマータイムの場合は午後0時30分)にRBAのウェブサイトにも公開されます。
- またオーストラリアでは、主要な物価統計の公表が、毎月ではなく、四半期毎です。公表前後の政策決定会合は、特に注目度が高まります。



今後の展開 今後の会合で利下げが濃厚、過去最低の政策金利で景気をサポート

■次回会合は5月5日に開催、利下げが濃厚

今回の会合は、5月5日に開催されます。今月発表された1-3月期の消費者物価の上昇率が、低下基調を維持する内容だったことから、市場では利下げ観測が強まっています。日本時間の当日午後1時30分の結果発表が注目されます。

■豪ドルは底堅く推移する見込み

底堅い景気を背景に、年内の利下げは0.25%程度の小幅にとどまる見込みです。日本など主要国に比べて高い金利水準は変わらず、豪ドルは底堅く推移すると見込まれます。

ここもチェック! 2015年04月22日 最近の指標から見る豪州経済(2015年4月)
2015年04月07日 豪中銀、政策金利を据え置き、豪ドルは上昇

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。